

## 山北町総合戦略（平成 27 年度～令和元年度）

### 山北町まち・ひと・しごと創生推進会議（外部有識者）による評価・意見

#### 基本目標 1 山北町における安定した雇用を創出する

- 概ね目標は達成している。引き続き雇用の創出について継続的に展開していく必要がある。
- コロナ禍の中、目標数に達していない項目があることはやむを得ない。
- 進捗状況は概ね良好だが、地方創生の推進に効果的であったかどうかは不明。若い世代の雇用の促進や支援策が見えてこない。
- 雇用創出には産業の発展が必要。コロナ禍が続く前提では施策の見直しも必要ではないか。
- 地物商品のピーアールを強化するなど、次世代の農家の方が儲かる仕組みづくりについて、町として検討して欲しい。
- 山北ブランドの認定数について、目標を上回っていることは評価できる。
- 平山工業団地の企業誘致も達成した。雇用や税収確保のため、更なる企業誘致を進めていただきたい。町の活性化にもつながる。

#### 基本目標 2 山北町への新しいひとの流れをつくる

- 目標に達していない項目が多いが、観光客減少などはコロナ禍の影響もありやむを得ない。
- コロナ禍の中、急速に価値観や概念の変化が起きており、人々の行動変容が加速している。テレワークやオンライン化が進んでおり、今後都市部からの移住も需要が見込めるため、山北町への移住に期待したい。空き家など今ある施設を生かしながら、アピールを強化していく必要がある。
- 山北独自の特徴的な取り組みが見えてこない。来てみたい、住んでみたいと思わせるような情報発信が求められる。
- 居住環境が重視されつつある。何が求められているのかを捉え、数値目標を設定して取り組む必要がある。
- 実際の空き家数に対して、空き家バンクの契約成立件数が少ないように感じる。
- 観光ガイド登録者について、目標数に達していないので引き続き募集をして欲しい。
- 山北駅周辺のレトロな雰囲気を生かし、施設整備などを進め、駅などへのポスター掲出によりアピールしても良いのではないか。
- 多くのハイキングコースや登山コースがある。ホームページやSNS等を活用し、多くの人に山北町の魅力を伝えて欲しい。
- 豊かな自然環境が県内外より評価され始めている。コロナ禍のピンチをチャンスに変える意識をもって事業を推進していく必要がある。
- キャンプ場へ多くの人々が訪れているようなので、町の事業と何か連携できないか。

#### 基本目標 3 山北町の若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える

- 進捗状況は概ね良好だと思う。達成率も高く継続を求める。
- 民間婚活のカップル成立率や、子育て支援の満足度が高いことは評価できる。予算的な面もあるが、結婚や出産、子育てに対する補助を手厚くし、山北町に永く住みたくなるような支援体制に期待したい。

- 住んでみたいと思う項目の中で「子育て環境」は高い順位にあると思う。中学校卒業までの学習を含めたトータルな支援が求められる。
- 「一人にしない（悩まない）子育て」が大事である。子育て世代を様々な角度から支援するネットワークの構築が高い効果をもたらすと考える。
- 子育て支援センターの利用者数については、コロナ禍の影響もあるが、より利用しやすい環境作りをお願いしたい。
- 基本目標3を達成するには、関連して雇用の創出や公共交通の充実が必要である。

#### 基本目標4 時代にあった山北町らしい地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する。

- コロナ禍が続く前提では、従来と異なる施策再検討も必要ではないか。
- コロナの影響で様々な活動や行事が中止となっており、現状では困難な状況となっている。今後はウィズコロナを念頭に新しい取組みが必要である。コロナが終息し、活動や行事が再開できれば、進捗状況は前向きに変化し始めると思う。
- 今後は更に災害に強い町づくりが必要になってくると思われる。
- 防災と連動した自治会づくりを進める中で、未加入者に対する意識変化を促すことが必要と考える。高齢化が進む中で自治会の役割は大きく、高齢者とのコミュニケーションをどのように確立していくかが安全な暮らしを守ることに繋がる。
- 一人暮らしの高齢者を多角的に支援する仕組みが求められる。
- 安心メールへの登録件数について、目標に達したことは評価できる。

#### 自由意見

- 今後は地域の将来を深刻に捉え、特色を生かした中で、今までと異なる取り組みが求められる。また隣接する近隣市町との連携強化も加速する必要があると感じる。
- 基本項目2が充実すれば、他の項目に関しても達成可能と考える。山北町の魅力を前面に出し、観光施設等も関連企業と連携した中で充実させていくことが必要である。御殿場線やバスなど、交通機関の信頼性も重要となる。
- 県内外の他地域における総合戦略の成功例等を共有し、充実した推進をお願いしたい。
- 時代の変化が激しく、予想外の出来事（大規模災害や新型コロナウイルス感染拡大など）が短い周期の中で発生しており、5年の計画期間では長いように感じるため、もう少し柔軟な施策策定と実施が求められる。
- 山北町の求人票、就職希望が少ない。若い世代に魅力ある就職先の開拓が必要ではないかと感じる。
- 買い物や交通などの利便性を求めて新しい居住先を決める人が多い。住むうえで何か良いなど思えるものが山北町にもあると変わってくるのではないかと感じる。
- 自然豊かな山北町を住みやすい魅力的な町にするため、無電柱化に取り組んでみてはどうか。どの町でもそうだが、電柱や電線があることで雑然として狭く感じる。電線を地中に埋めることにより、安全で解放感がありのびのびと散策ができる街並みになると思う。
- 高齢者以外にも町内循環バスの回数券を配付し、慣れ親しんでもらうことも検討してはどうか。